

しず老施協

No. 68

令和5年10月 発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館内

TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312

E-mail: sizurossi@vesta.ocn.ne.jp

http://www.shizu-roshikyo.jp/

巻頭言



看取り文化の再生と施設での看取り介護の推進 ～介護職の社会的評価を高めよう～

静岡県老人福祉施設協議会相談役 石川 三 義

県老施協の会長を退任して相談役になって4年が経過した。少し時間的に余裕ができるかと思っていたが、逆に会長を辞めたのだから暇になったと思われて、新しい役職をお願いされ、前よりも忙しくなったように思われる。さて、「しず老施協」の巻頭言を書くのも今回で8回目になるそうだ。前は「福祉のターミナルケア」のことを少し書かせていただいた。今回は、3年前にコロナ禍の中で98歳の母親を自宅で最期まで看取らせていただいた経験を踏まえて、地域での看取り文化の再生や介護職の専門性発揮と社会的評価について考えてみた。

地域社会に「看取り文化の再生」

「人生の最期をどこで迎えたいか」という県民へのアンケートでは、自宅が47.2%で最多であるが、しかし実際自宅で最期を迎えることができた人は13.5%と、県民の希望と現実が大きくかけ離れている。我が国は、昭和30年代には病院死が15%、自宅死が70.7%であったが、昭和52年を境にして両者が逆転し、平成8年には病院死が74%、自宅死が18.3%となっている。今、国は地域包括ケアシステムの構築を掲げ、在宅医療・介護の連携を基に在宅での看取りを推進している。その為にまず、24時間体制の在宅医療と介護の一体的提供の実現が不可欠であると言われている。しかし、一方の在宅介護を担う訪問介護職員の慢性的不足と高齢化が極端に進んでいることが極めて危惧される。それだけではない。昭和30年代から現在までの半世紀にわた

り、病院死が増えたことにより、地域や家庭で人を看取るための知識や技術、精神的支柱が消えてしまったことである。つまり、我が国から「在宅での看取りの文化」が消失していったと言える。従って、在宅医療と介護の一体的提供だけではなく、もう一度地域社会や家庭の中に「看取り文化」の再生をしなければならないであろう。

施設での看取り介護と介護職の社会的評価を高めよう

終末期ケアにおいて医師や看護師が評価をされ、より多く携わる介護職員が同様に評価されなかったら、介護職の人材も今以上に不足し、在宅での看取りはますます不可能となるであろう。人生100年時代において、人の看取り介護を行う介護職は、極めて重要な使命と役割があると言えるし、また人間性豊かな大事な仕事、誇り高き仕事であると高く評価されなければならない。私たちは介護職の魅力を幅広く発信し、介護職の社会的評価を獲得して行く為にも、人生100年時代に向けて看取り介護の専門職としての専門性の発揮が何よりも大切ではないだろうか。私たち老施協の各施設での看取り介護の実践は、その専門性を十分に発揮しており、入居者とご家族等の関係者はもとより、医療介護関係者、県民の方々などからも高く評価されてきていると思える。今後も施設での看取り介護をしっかりと取り組んでいくことが私たちの老施協の使命と言える。またその事が介護職員の社会的評価を高めることに繋がるであろう。

特集1

第12回高齢者福祉研究大会を振り返って
～未来へつなぐ ふじのくにの介護力～

高齢者福祉研究大会実行委員長
特別養護老人ホーム葵の里
施設長 木 全 重 樹

9月21日（木）に第12回静岡県高齢者福祉研究大会が静岡市のグランシップにて、5年ぶりに会場（集合）開催されました。

昨年はコロナ禍ということもありWEB配信にて開催しましたが、今年は5月のコロナ5類への移行を踏まえ、感染対策にも配慮しながらの会場開催となりました。



会長挨拶



会長表彰

5年ぶりの会場開催ということもあり発表演題数や参加者数など不安な面もありましたが、発表演題50題、研究発表者90名、参加者301名、運営スタッフ54名、総勢445名の方々が来場しての大会となりました。

開会式においては、会長挨拶、来賓挨拶のほか、今年度の静岡県老人福祉施設協議会会長表彰として、永年在職施設長感謝状3名、永年勤続職員表彰218名の



代表として、施設長1名、職員3名が表彰されました。

講演会では、よしもと芸人のレギュラーのお二人による「お笑い×介護＝笑顔！」と題してお笑い芸人ならではの視点を基に、人と人との接し方や実際にお二人が施設訪問の際に行っているレクリエーションなどを中心に1時間に渡り講演していただきました。

レギュラーさんの親しみやすく分かりやすい表現や説明で、来場者の皆様と一緒に会場全体が笑顔に包まれる講演会となりました。



レギュラー（よしもと芸人）松本康太氏 西川晃啓氏

研究発表では、50演題の応募となり、①中重度ケアの実践、②暮らしを楽しむ工夫、③多職種協働・連携の実践、④魅力ある職場づくり、⑤在宅サービスの取組、⑥社会福祉法人における取組、⑦コロナ禍におけ

〈優秀賞受賞施設〉

ブロック	発表施設	発表タイトル
A	特別養護老人ホーム小鹿なでしこ苑	転倒・転落
B	特別養護老人ホーム浜北愛光園	コロナ禍で家族が求めるつながりとは
C	デイサービスセンター丸子の里そよかぜ	「俺は働きに来ているんだ」
D	特別養護老人ホーム南風	その人らしさを認め合う
E	特別養護老人ホーム西之島の郷	楽しい×ユニット×レクリエーション＝∞



る取組、の7テーマでAブロックからEブロックまでの5会場に分かれ発表されました。

5年ぶりの会場開催のため、本大会のような大勢の聴衆を前にしての発表が初めてという発表者の方も多かったのではないかと思います。ある会場で発表を終えた方に声を掛けると「とっても緊張しました。それ以上にたくさんの方に聞いてもらって嬉しかったです。」と発表後の気持ちを笑顔で表現して下さった方がとても印象的でした。

また別の会場で発表を聞きに来ていた方に声を掛けると「皆さんがいろいろな発表をしているのを聞いて、自分も職場で何か取組をしないと、と思いました。」と



お話しくださった方もおりました。施設や職種が違って同じ志を持つ仲間の発表を通して、高齢者介護に携わることの尊さや自らが高齢者介護の職に就こうと思ったその気持ちを今回の大会に参加したことで、再確認された方も居たのではないのでしょうか。

コロナ禍であった3年間で社会情勢はもとより、施設や事業所の置かれている状況も大きく変化しました。日々の感染対策をはじめ、物価高騰による経営難や介護人材不足など直面する課題も多く、施設・事業所運営が大変な中、今回大会運営にあたり携わって頂いた静



岡県老人福祉施設協議会企画経営委員会、研修委員会、次世代委員会、広報委員会、大会実行委員会、事務局の皆様がこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

来年の第13回大会も、今年と同じく静岡市のグランシップにて開催を予定しております。第12回以上に盛んに開催できますよう、多くの皆様のご参加をお待ちしております。合わせて静岡県の介護力の向上と発展に本大会が介護現場で働く皆様の一役となりますことを祈念しております。

美芳会の働き方の制度・取り組みの紹介



社会福祉法人美芳会 理事長
養護老人ホームするが荘
施設長 大塚 渉 爾

社会福祉法人美芳会では、令和5年9月時点で以下の認証を取得しております。

認証名・種別・管轄	認定マーク
認証名：プラチナくるみん 種 別：子育て支援 管 轄：厚生労働省/労働局	
認証名：プラチナえるぼし 種 別：女性活躍 管 轄：厚生労働省/労働局	
認証名：もにす 種 別：障がい者雇用 管 轄：厚生労働省/労働局	
認証名：ふじのくにカンパニー 種 別：子育て支援 管 轄：静岡県	

認証名・種別・管轄	認定マーク
認証名：静岡県働きやすい介護事業所認証 種 別：介護働きやすさ 管 轄：静岡県	
認証名：健康経営優良法人2023 種 別：健康増進 管 轄：経済産業省	
認証名：はぐくむFUJIオフィシャルサポーター認定企業 種 別：子育て支援 管 轄：富士市	

宣言	種別	管轄
ふじのくに健康宣言事業所	子育て支援	静岡県
輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会	女性活躍	内閣府
ふじのくに女性活躍応援会議	女性活躍	ふじのくに女性活躍応援会議
女性活躍加速化に向けた行動宣言	女性活躍	静岡県
静岡県障害者就労応援団	障がい者雇用	静岡県
ふじさんっこ応援	子育て支援	静岡県
パートナーシップ構築宣言	企業間の持続可能な関係構築	中小企業庁

これらは2015年より取り組み改善を行い、2017年のユースエール認定をはじめとして少しずつ、制度の見直しや有給・時間外などの労務結果などが改善されて上記の取得につながっています。

これらの継続した成果として、非営利一般社団 安全衛生優良企業マーク推進機構（SHEM）が独自調査を行っている、ホワイト企業マークの取得数ランキン

グでは社会福祉法人美芳会はランキング6位に位置し評価を頂いています。また、TOP100位に社会福祉法人が3社入るなど、上場企業やグローバルの有名企業と比べても遜色ない結果であり職員が働きやすい環境整備が業界特性に偏ることがないと言え、求職者が就職時に参考にする項目として働きやすい環境は重要なアピールポイントにつながると言えます。

ホワイト企業ランキングTOP100 順位表 2023年9月更新

順位	企業名	取得マーク
1	社会福祉法人育白学園	
2	小規模福祉株式会社	
3	株式会社北洋開発	
4	リーブルテレビ株式会社	
5	アスオカンパニー株式会社	
6	社会福祉法人美芳会	
7	名古屋福祉株式会社	
8	株式会社千草銀行	
9	福井県民生活協同組合	
10	株式会社若手銀行	

※非営利一般社団 安全衛生優良企業マーク推進機構（SHEM）サイトより

「しず老施協」の寄稿記事として、会員施設向けに他法人でも取組み実践するためのヒントをいくつか記載いたします。各制度の詳細については、省庁・労働局や自治体のHPを参照していただくか、顧問の社労士にご相談いただくことをお勧めいたします。

美芳会で実践した中で重要だったこととしては以下の5つであると考えます。

① 方針や目指す状態や目標の宣言・発信

法人が考える、職員や周りの人に対しての各テーマ（子育て支援・女性活躍・障がい者雇用・健康増進・等々）の方針やメッセージを言語化し、HPや各種団体が募集している宣言として掲載することが重要です。

社会的な取り組みの責任として自らの考えを発信し周りとの協力関係を構築するという考え方が根本にあるため取り組みとしてのスタートラインとなります。

② 改善していくポイントの選定

改善していくポイントの多くは「有給休暇利用」「時間外の削減」「女性管理職の拡大」「教育機会の提供」など共通しているものと種別により特徴あるものとに分かれますが、すべて100%達成が必要ではないので、自法人の中で伸ばしやすい強み・特徴や手の付けやすい部分から取り組んでいくとよいです。また、厚生省の「働き方・休み方改善ポータルサイト」や各団体がまとめている事例には取り組み参考になることも多く書かれているのでそこから情報収集し選定していくことをお勧めします。

③ 改善するための環境整備（規則規程のソフト面の環境や建物などのハード面の環境）

②で選定した改善ポイントを実際運用していくためには規則の改定やハードの整備などの環境整備も必要になることがあります。法人のトップが職場を良くしていくことを拒む職員はいないので①の方針を内外ともに発信することで理解の促進を得ていくことが重要となります。

④ 定期的な数字の収集と振り返り

③で環境整備を行った後は実施していき経過を追

っていくこととなりますが、有給休暇や時間外など数値で測定する項目が多いため、測定方法の仕組みを整備していくことをお勧めします。ITツールの利用で自動で収集することも可能な内容も増えているため、管理部門のノウハウも他法人と共有して部門のスキルアップも重要です。

⑤ 報告結果に伴う認定申請と改善計画の作成継続

計測した結果をもとに認定申請や認定されなかった場合は翌年への改善のための計画へ活かしていくことが重要です。これらの取組は認定を取ることが目的ではなく、法人の目指す姿を実現するための環境整備の取組プロセスとなります。その結果、職員にとってよりよい環境整備がされ、足りない場合は次への改善とつながっていきます。成果がでるには一定の年数を有するため、①の計画を中期的にブレない計画として組織内で共有することが持続性のある計画遂行につながると考えます。



※当法人HPの女性活躍の取組の説明ページ

社会福祉法人美芳会ではこれらの取り組みを2015年から実施しすでに8年経過しました。まだまだ、日本で一番優れた組織としての「働きやすさ」「働きがい」「成長」の実現できる組織には足りない点が多くありますが、一歩ずつ着実に成長し良いサービス提供に繋げていくことを組織として引き続き努力してまいります。これらの取り組み活動に会員組織の方々と一緒になって実践できることが地域にとってよりよい社会福祉サービスにつながると考えております。

美芳会では取組内容はすべて開示・共有しております。個々詳細の取組や申請に関することは美芳会のNote（Webブログのようなもの）に記載しておりますので、よかったら閲覧フォローしてください。今回の寄稿を機に記事の追加をしていきたいと思います。



要望活動の報告

～静岡県・静岡市・浜松市・自民党介護議連への要望～

令和5年8月25日（金）に静岡県への要望活動、8月31日（木）に静岡市への要望活動、9月6日（水）に浜松市への要望活動、9月11日（月）に自民党県議会「安心して過ごせる高齢者施設を考える議員連盟（以下「自民党介護議連」）」への要望活動を行いました。

<要望書の項目と要旨>

I 新型コロナウイルス感染症への対応について

高齢者施設の入居者及び職員への追加ワクチン優先接種、高齢者施設で感染が発生した場合の初期対応として医療専門家（DMAT等）チームによる速やかな現場指導、感染症発生に伴うかかり増し経費の予算措置の継続など

II 物価高騰への対応について

物価高騰や産業界の賃上げの動きなどに伴い、施設経営や職員の人材確保が一層困難になっているため、光熱費や燃料費などの物価高騰への緊急支援措置の継続など

III 介護人材の確保・養成・定着に向けた取り組みについて

「就職フェア」等の開催回数の増加とマッチング機会の拡大、教育委員会等との連携協力による介護の仕事への理解促進、外国人人材の雇用確保・定着のための介護報酬加算メニュー等の創設、「働きやすい介護事業所認証制度」の改善など

IV 福祉施設でのデジタル化の推進について

科学的介護推進体制加算（LIFE加算）に係るフィードバックデータ活用マニュアルの作成や研修会の開催、介護業務におけるICT化推進に対する助成制度の拡充など

V 防災対策の充実・強化について

BCP（事業継続計画）の実行性確保のための人的・物的支援、被災時における社会福祉施設の機能確保と福祉避難所機能の整備・維持に向けた支援など

VI 福祉施設の老朽化への対応について

福祉施設機能維持のため建物や既存高額設備（ボイラー・空調機器、配管設備、エレベーター等）の修繕、又は更新に係る経費への支援など

VII 各委員会要望について

特養委員会からは、柔軟な従来型（多床室）の新築・増改築の許可・補助など、養護委員会からは、養護が必要な高齢者の適切な措置制度の実施など、軽費委員会からは、実情に見合った生活費（食費等）の見直しなど、地域ケア委員会からは、訪問介護事業所職員の高齢化や過疎化の進展に伴う対応など、について要望しました。

要 望 書

“未来へつなぐ ふじのくにの介護力”

令和5年8月25日

静岡県副知事

森 貴 志 様

静岡県老人福祉施設協議会

会長 種岡 養一

※ 要望書(全文)は老施協HPのピックアップに掲載しています。

こちらから ⇒



【県への要望】

森 副知事訪問



左から増田副会長、石川相談役、森副知事、種岡会長、大塚副会長、前田副会長



八木 県健康福祉部長訪問



【自民党介護議連への要望】



鈴木澄美県議(介護議連会長)訪問



左から自民党介護議連の皆さん(望月県議、市川県議、良知県議、宮沢県議、増田県議、鈴木澄美県議)、種岡会長、大塚副会長、前田副会長、増田副会長

【政令市への要望】

吉永 静岡市保健福祉長寿局長訪問



鈴木 浜松市健康福祉部長訪問



支部紹介(中部支部)

ICT機器等の導入と効果検証について



社会福祉法人まごころ 常務理事
特別養護老人ホームまごころタウン*静岡
施設長 原 崎 伸 治

昨今の少子高齢社会により介護マーケットは成長している一方、課題も山積しています。財源不足、介護スタッフ不足、インフレーションでコスト増、個々のニーズの多様化等の社会変化が起こる中で、介護施設の経営、運営、人材育成、職場環境の安定を図るために、社会福祉法人まごころでは様々な対策に取り組んでいます。理念にもとづき、“入居者様へどういった想いを込めて個別ケアの提供するのか。施設での暮らしに制限や不自由がなく、その方らしく過ごしてほしい。”といった私たちの想いの実現と介護現場の生産性を上げるために、最先端のデジタル技術やサービスを積極的に取り入れた新しいケアを紹介いたします。

導入先

- ・特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、小規模多機能型居宅介護

導入実績（一例）

- ・2015年：タブレットで入力できる介護記録システム導入
- ・2019年：センサーによる見守りシステム「LASHIC care」導入（室内空間センサー、睡眠センサー、ナースコール）
- ・2022年：インカム（双方向の同時通信が可能な通信機器）「BONX」導入

主な目的

- ・業務の効率化、情報共有の効率化、人手不足の解消、ケアの質向上、スタッフ間コミュニケーションの円滑化、新人スタッフの育成、事故防止、離職率の低下、求職者への魅力付け

導入機器と導入効果

■介護記録ソフト

- ・情報共有や申し送りが漏れなくタイムリーにできる
- ・過去のデータ抽出・分析が誰でも容易にできる
- ・インターネットへ繋がっていれば、受診時に過去の記録確認等ができ医師への確かな情報を伝えることができる
- ・記録と合わせて写真もアップすることで記録の精度が上がり、経過記録が管理しやすくなる

■見守りシステム「LASHIC care」（室内空間センサー、睡眠センサー、ナースコール、緊急通知ボタン）

- ・カメラではなくセンサーのためプライバシーに配慮して見守りができる
- ・パソコンやタブレットで部屋の温度、湿度、明るさを一元管理でき、いつもと違う状況になるとアラートで通知があり、タイムリーに対応できる
- ・部屋での人の動きを感知でき、適切なタイミングで訪室ができる
- ・就寝時の様子や睡眠時間がデータとして管理できる

LASHIC care



居室センサー



ベッドセンサー



ナースコール



呼び出しボタン



ドアセンサー



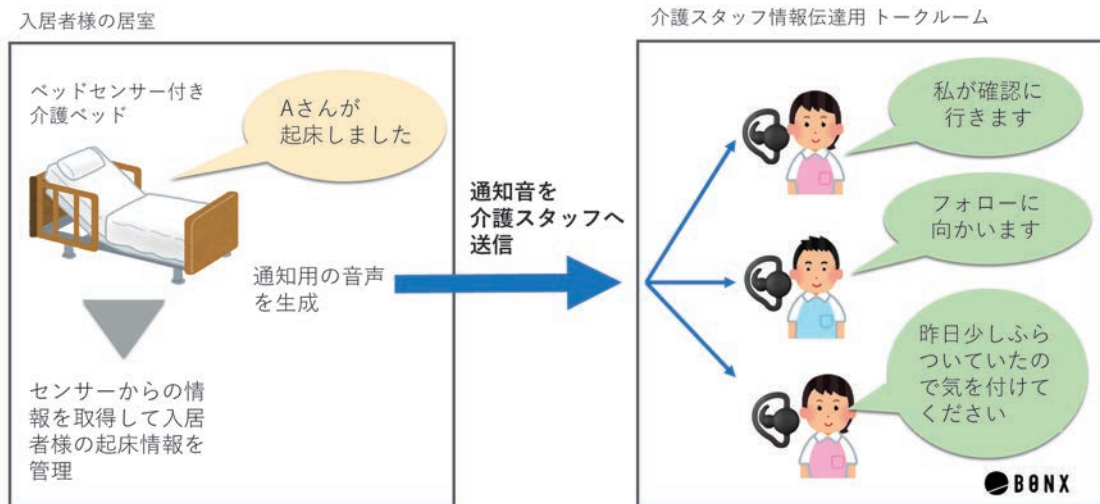
モニター画面



個人画面

■インカム使用例

ベッドセンサーと組み合わせて離床予測を介護職員に音声で自動通知



- ・ 離床予測がスタッフのスマートフォンに通知され、ベッドからの転倒事故防止になる
- ・ 各センサーで部屋の様子がわかるため、必要なケアで訪室ができ、夜勤者の業務負担軽減できる
- ・ 夜間巡視をパソコンやタブレットで行うことで入居者様の睡眠を妨げることがない
- ・ ナースコールで会話ができることで入居者様に安心していただける
- ・ 過去データから起床リズムが把握でき、個別ケアに活かすことができる
- ・ 介護未経験者の夜勤業務の精神的負担が減る

■インカム

- ・ ケアの手を止めることができない場合でも申し送りができる
- ・ 入浴介助中も使用でき、フロアにいるスタッフとコミュニケーションが取れる
- ・ いつでもスタッフとつながるため、経験が浅いスタッフへ遠隔からアドバイスや指導ができる
- ・ 速やかに施設長や看護師、スタッフへ連絡ができ、緊急時の対応が迅速になる
- ・ 施設内のスタッフといつでもどこでもコミュニケーションがとれる

■その他

- ・ コミュニケーションツールSlack：一斉、ユニットごと、個別連絡や返信が容易になり、情報共有のスピードが上がる
- ・ オンライン医療相談(ドクターメイト)：24時間いつでもどこでも医師とコンタクトがとれ、安心感につながっている
- ・ ワイヤレス超音波画像診断装置 (ポータブルエコ

ー iViz air)：トイレ誘導やオムツ交換のパターンを把握している

- ・ 再加熱カート：厨房スタッフの勤務時間短縮

課題と対応

- デジタル機器を導入しても一部のスタッフしか活用できなかった。現場のITリテラシーを上げるため、グループ法人で、民間資格「IT介護士」を立上げ、当法人のスタッフも多く受講した

IT介護士



- インターネット環境が重要であり、特にWi-Fiの環境が脆弱だったため、環境整備を改めて実施した。
- デジタル機器を活用したケアが確立するまでは担当者だけでなく、システムの営業や開発者とも伴走できる環境を作った

総合的な効果

- 間接介助や間接業務の時間削減が実現した。削減できた時間を直接介助に充てることで入居者様のQOL向上とスタッフエンゲージメント向上の両者が出た
- スタッフの業務負担軽減、人手不足の中でもケアの質を下げないためにスタッフを補助するツールとしてデジタル機器を導入したが、ハード面だけでなくソフト面にも目を向けて進めていくことが重要であると考え

職員紹介

各施設の職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

デイサービスセンターみもぎ

（富士市）

- ① 室井里砂（介護職員）
- ② 推しのライブに行けたこと。
- ③ S**t kingz（シットキングス：ダンスグループ）
- ④ 家族旅行
- ⑤ “来たら元気になる！”デイサービスにしていきたいです。またその元気をご自宅に持ち帰ってほしいです。
- ⑥ 子育てと両立したくて、家が近いデイサービスを希望していました。法人として子育てに理解があり、また施設が明るくて和やかな雰囲気がいいと感じ選びました。



鑑石園

（富士市）

- ① 館山華奈（介護職員）
- ② ワールドカップ予選の女子バレーボールを生試合で観戦その試合で日本がストレート勝利したこと
- ③ 特になし
- ④ 貯金・ディズニーリゾートに行きたい。家族に使いたい。
- ⑤ 利用者様、職員ともに明るく笑顔が絶えない職場にしていきたい。
- ⑥ 職員同士協力し合い、利用者様が明るく笑顔が多いため。



片岡杉の子園

（吉田町）

- ① 山内 雅（生活相談員）
- ② 家族でディズニーに行ったこと。
- ③ 平野紫耀
- ④ 国内外旅行
- ⑤ 第2の家になるような場所にしたい。
- ⑥ 高校の時の実習でお世話になっていたのと、当時自宅から近かったから。



福聚荘

（焼津市）

- ① 橋本いずみ（介護福祉士）
- ② 好きなアーティストのコンサートに行ったこと
- ③ 綾瀬はるか・大谷翔平
- ④ ・静かで景色のいいところに家を建てる
・親に何かプレゼントしたい
- ⑤ ご利用者が安らげる施設
- ⑥ 通勤がしやすい施設をさがし、施設見学をしたところ『ここならやっていける！』と思ったから



小笠老人ホーム

（掛川市）

- ① 鈴木愛香（栄養士）
- ② 息子の学校の実習風景を見る機会があった事と、娘と2人でお出かけが出来た事
- ③ 堺 雅人・大谷翔平
- ④ 自分の行きたいと思っている夢の場所へ行く
- ⑤ 利用者も職員も楽しく張り合いのなる職場
- ⑥ 今の福祉会は、自分が住む地域で関わりが多く、自分も含め家族が利用したことがあることと、福祉のイメージが変わる明るい職場であると感じたから。



ケアハウス紅紫萩

（袋井市）

- ① K.N（介護職員）
- ② 子供の成長
- ③ 渡辺直美さん
- ④ 貯金と旅行
- ⑤ 笑顔があふれる職場にしたいです
- ⑥ 自然に囲まれた環境の施設で、皆様のお役に立ちたいと思いました。



どうぞよろしくお願いします

会員施設の紹介

特別養護老人ホーム みどりが丘ホーム

【一言キャッチフレーズ】

「秀麗富士に見守られた四季折々の大景をステージに、うるおいのある日々を」「笑顔あふれる希望の明日へ」ここは新しい出逢いにあふれたもうひとつの“我が家”

【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホームみどりが丘ホーム
- ・施設長名：出口雅人
- ・運営法人：社会福祉法人日本民生福祉協会
- ・理念：『敬愛・安心・温もり』
- ・開所日：昭和50年7月27日
- ・所在地：田方郡函南町大竹20-15
- ・提供サービス：介護老人福祉施設／短期入所生活介護／居宅介護支援
- ・定員数：介護老人福祉施設80名／短期入所10名



※詳細版はこちらから ⇒



特別養護老人ホーム 高麓

【一言キャッチフレーズ】

「“最期まで自分らしく生きる”を増やす」

【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホーム高麓
- ・施設長名：吉田靖基
- ・運営法人：社会福祉法人東益津福祉会
- ・理念：この施設は、人は生を受け成長し、多年にわたる社会への貢献・地域を支え、国を支えて、やがて一生のうちの高齢期に至ることに鑑み、この人達に何をもって報いるかを考え、この施設を利用するすべての人々の幸せを考えて奉仕と博愛の精神をモットーに経営にあたることを本分とする。
- ・開所日：平成9年4月1日
- ・所在地：焼津市坂本385-1
- ・提供サービス：特別養護老人ホーム／ユニット型老人ホーム（長期・短期）
- ・定員数：130名



※詳細版はこちらから ⇒



きさらぎデイサービスセンター

【一言キャッチフレーズ】

「リラクゼーション&リフレッシュ」

【施設概要】

- ・事業所名：きさらぎデイサービスセンター
- ・管理者名：山口寿子
- ・運営法人：社会福祉法人慶成会
- ・理念：『やさしく ゆったり よりそって』
- ・開所日：平成20年3月1日
- ・所在地：浜松市中区花川町818番地の1
- ・提供サービス：通所介護／介護予防通所サービス
- ・定員数：35名／日



※詳細版はこちらから ⇒



デイサービスセンター サルビア

法人名 社会福祉法人 岳陽会
 開設日 平成15年1月4日（入会年月日 令和5年7月1日）
 施設長 渡邊 睦
 所在地 富士市五味島280-1
 入所定員 35人



令和5年度老施協活動報告（令和5年7月1日～令和5年10月31日）

☆は予定

【老施協】

- ★7月31日 正副会長会議 会運営協議等
- ★7月31日 公明党県本部政策要望懇談会
- ★8月25日 第2回理事会
- 【協議・報告事項：理事の補欠の選任、委員会委員の補欠の選任、令和5年度会長表彰受賞者の決定】
- ★8月25日 県福祉長寿局との懇談会（県政さわやかタウンミーティング）
- ★8月25日 県への要望活動（相談役・正副会長）
- ★8月31日 静岡市への要望活動（会長、中部支部長 等）
- ★9月4日 自民党政調会への要望活動（会長、大塚副会長）
- ★9月5日 県健康福祉部との懇談会（会長）
- ★9月6日 浜松市への要望活動（会長、西部支部長 等）
- ★9月11日 正副会長会議 会運営協議等
- ★9月11日 自民党県議連への要望活動（正副会長）
- ☆10月26日 自民党県連厚生問題対策連絡協議会への要望（会長）
- ※新型コロナウイルス感染症対策
 - 7月26日 第1回新型コロナ応援職員研修会（ブラサヴェルデ）
 - 8月4日 第2回新型コロナ応援職員研修会（シズウエル）
 - 8月10日 第3回新型コロナ応援職員研修会（サーラシティ浜松）

【企画経営委員会】

- ★7月14日 第2回委員会（DX化調査・研究、要望活動等）
- ★9月7日 第3回委員会（要望活動、DX化調査・研究等）

【広報委員会】

- ★7月12日 第2回委員会（『しず老施協』第68号の企画）

【研修委員会】

- ★7月5日 接遇マナー研修（シズウエル）
- ★8月1日 第3回委員会（人材育成研修等）
- ★8月23日 人材育成研修（リモート）
- ★9月29日 BCP研修（シズウエル）
- ★10月6日 第4回委員会（外国人介護人材活用研修、介護力向上研修等）
- ★10月18日 外国人介護人材活用研修（シズウエル）

【次世代委員会】

- ★9月1日 第4回委員会（学生セミナー、「介護の日」啓発ポスター）

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

- ★7月27日 第3回委員会（タイムスケジュールの確定等）
- ★8月17日 第4回委員会（全体の役割分担、大会運営マニュアル等）
- ★9月7日 第5回委員会（合同委員会）（全体会議、班別会議）
- ★9月21日 第12回高齢者福祉研究大会（グランシップ）

【特養委員会】

- 7月1日～9月30日 待機・入所状況調査アンケート配布・集計
- ☆10月24日 第3回委員会（待機・入所状況調査報告書等）

【軽費委員会】

- ★7月4日 第1回委員会（令和5年度活動計画、県への要望等）
- ★10月4日 第2回委員会（研修計画、総会準備）

介護の日街頭キャンペーン

11月11日の「介護の日」を中心に各支部で街頭啓発活動等を実施します！

○各地区ともに令和5年11月10日（金）午後を予定 多くの皆様の参加をお願いします！！

	実施場所		実施場所		実施場所
東部	J R三島駅 駅前広場	中部	J R静岡駅 コンコース	西部	J R浜松駅 コンコース



静岡県老人福祉施設協議会
「介護の日」キャラクター

編集後記

施設長になり9年、県老施協の総会や委員会、研修を通して、いろんな施設長さんと知り合い、その施設の取り組みをお聞きしたり、しず老施協で拝見しながら、勉強させていただいております。

自分の施設のケアの向上と、職員の労働環境の改善を目指し、良い施設に何とか追いつこうと考えるものの、自分では良い案も浮かばず、それならばまずは先進的な施設をマネしようと思い、良い取り組みを知ったら、その施設を見学させて頂いたり、お話を伺いすることを積極的におこなってきました。

時には、マネした就職フェア用の施設紹介パネルがあまりにそっくりで、さすがに同じ会場のフェアで使

えなくなってしまったことも…。

老施協は、会員同士の繋がりが強いと感じます、各施設の良い所も悩みもざっくばらんに本心で話すことができ、業界全体のことを考えている会員が多いのが魅力であると思います。

これから秋には、関ブロや全国大会を通して県外の施設の仲間と出会い、取り組みを知ることができます。全国の良い施設の取り組みを学び、マネさせて頂きながら、ケアの向上と、職員の労働環境の改善に努めていきたいと思っています。老施協での出会いに感謝しております。

（久保田和宏）